

課題解決アイデアシート

1 提案者 藏本・河村・西村

■主体は？

私たち自身!!

●まちづくりチーム

- ・仲間を集めたいと思っている人
- ・提案、支援、きっかけ提供
- ・交流を起こすつなぎ役

■どんなまちをつくりたいの？

乱れて、汚くて
'楽しい'がキーワード
だから自主的に動くことができる

テーマ	市民の意識向上!!	
アイデアカード	目的 (解決できる課題)	・市民や行政にまちづくり活動を知ってもらおう。 ・人の輪、活動の輪を広げる。 ・活動の楽しさを伝える!
	アイデア名称 (事業名)	飛び込め! のり込め! まちづくり
	内容	・まちづくりを進める上での協力体制の模索 ・まちづくり作戦計画! たくさんの人を巻き込む! ・まちづくり体験を人の集まる場所へ持ち込む。
課題の原因	市民のまちづくりへの意識が低いので、情報をなげかけても伝わらないし、知ろうとしない。だから、活動する人はいつも限られ、多くの人、知らない、広がらない、楽しめない!	
主体の役割	活動団体	・団体自体のPR ・みんなにできることを提供する。楽しく。
	学校	・子ども、学生のまちづくり体験学習のために、団体を受け入れる。 ・小さいうちから場数をふむ。
	自治会	・集会を頻繁に開く。(地域の人を集める。) ・集会に、まちづくり体験のために、団体を受け入れる。 ・自治でできそうなことを話し合う。自治主体を目指す!
	企業	・スポンサーになる(小さいことからコツコツと) ・まちづくり貢献 ・楽しみの提供
	行政	団体、学校、自治会、企業などをつなぐ
評価	<実現可能性> 青色 ●●●●●●●●	<実行の必要性> 赤色 ●●●●●●●●

<発表1班> (第4回会議録より抜粋)



テーマは「市民の意識向上」です。意識の少ない市民が多く、団体やボランティアの輪が広がらない。まず目的は、まちづくり活動を知ってもらうこと。人の輪、活動の輪を広げ、活動の楽しさを伝える。

事業名は「飛び込め! のり込め! まちづくり」としました。これは人に集まってもらうための募集や呼びかけをするのではなく、たくさん人がいるところでのPRや一緒に体験し

てもらう方が効率的ではないかということです。

内容はまちづくりを進める上での協力体制の模索、たくさんの人を巻き込む、まちづくり体験を人の集まる場所へ持ち込むということがポイントです。

課題の原因は、市民のまちづくりへの意識が低いので、情報をなげかけても伝わらないし、知ろうとする人が少ない。だから活動する人は限られ、多くの人、知らない、広がらない、楽しめないということだと思ふ。

課題を解決するための各主体の役割はコチラ

質疑応答

<Q>よくわからなかったが、どこが中心になって動くのか。

<A>仲間を集めたいと思う、まちづくりをしている団体が主体的にPRに出かけて欲しいと思う。

<Q>飛び込んでいくという考え方はいいと思うが、どんなまちをつくるのか。

<A>自分が楽しくないと、人は楽しそうと思わない。

<Q>楽しいまちづくりか。

<A>そうです。楽しいと人が集まるし。楽しいがキーワードです。

<Q>どういったことが楽しい、どんなときが楽しいのか。

<A>楽しいことをやりたいと思うと主体的になる。受け身でやると楽しくない。自分でやりたいと思うと、自分で責任を持って主体的に動ける。難しいが楽しいがキーワード。

<Q>自主的に動いていく雰囲気づくりが楽しいということにつながるのか。

<A>目標があって、まちづくりに向けて苦しかったり、つらかったりするが、楽しいと次のまちづくりをすることにつながると思う。